

H23.11.21  
第24回都市内分権審議会  
当日配布資料

# 支所業務の見直しについて

---

# 1 支所の在り方検討の必要性

## 第一庁舎建替えに伴う検討

- 合併支所庁舎などの空きスペースの有効活用について
- 本庁から支所への業務・職員分散による第一庁舎建設面積の抑制の可否判断について



## 支所の充実の検討

- 住民自治協議会の支援について
- 住民に身近な支所の機能・権限について
- 都市内分権における地域総合事務所構想について

支所業務の在り方についての方向性、第一庁舎建替えへの影響の有無を検討



庁内に「本庁と支所機能の在り方に関する関係課検討会議」を設置し、検討

(関係課検討会議構成)

総務部

職員課 庶務課 行政管理課 危機管理防災課  
第一庁舎・長野市民会館建設事務局

地域振興部

都市内分権課

産業振興部

農政課 農業土木課 森林整備課 観光課

建設部

監理課 道路課 河川課 維持課

14課

## 2 支所の担当設置状況・職員数 (H23.4.1現在 単位:人)

### ■ 担当制のない支所 (14支所)

区分	支所名	職員数
旧二表支所 (S29年合併)	古里支所	4
	柳原支所	4
	浅川支所	4
	大豆島支所	4
	朝陽支所	4
	若槻支所	5
	長沼支所	3
	安茂里支所	5
	小田切支所	3
	芋井支所	3
旧連絡所 (T12年合併)	芹田支所	4
	古牧支所	4
	三輪支所	3
	吉田支所	3

### ■ 担当制のある支所 (13支所)

( )の数值は技術職員数

区分	支所名	職員数	担当設置状況・職員数				
			総務	市民	産業 振興	土木	建設 土木
旧一表支所 (S41年合併)	篠ノ井支所	15 (2)		12		1 (1)	
	松代支所	13 (2)		10		1 (1)	
	若穂支所	10 (2)		7		1 (1)	
	川中島支所	11 (2)		8		1 (1)	
	更北支所	13 (2)		10		1 (1)	
	七二会支所	6 (2)		3		1 (1)	
	信更支所	6 (2)		3		1 (1)	
	H17年合併	豊野支所	18 (3)		9	1	
戸隠支所		23 (2)		9	5		6 (2)
鬼無里支所		18 (2)		6	5		3 (1)
大岡支所		15 (2)		5	3		3 (1)
H22年合併	信州新町支所	32 (2)	6	7	5		9 (2)
	中条支所	20 (3)	3 (1)	4	3		5 (2)

※ 担当職員数には支所長・支所長補佐を含まないため、担当職員数計と職員数は一致しない。

### 3 主な取扱事務／これまでの見直し経過

#### 主な取扱業務

業 務 内 容	合併支所	旧一表支所	旧二表支所 旧連絡所
各種申請の受付、証明書発行等の窓口サービス 市税、国民健康保険料等の収納	○	○	○
地区まちづくり活動、住民自治協議会との連絡調整・活動支援	○	○	○
建設・土木に係る相談・要望・陳情等の調整・取次、災害対応・支援	○	○	
道路等の緊急処置（工事設計及び発注）、地籍調査、除雪及び凍結防止剤散布 地区観光振興、農業振興・観光振興施設等の管理運営	○		

#### これまでの見直し経過

年月	見 直 し 内 容
H11.4	支所の一表、二表の区分を廃止 一表支所の課制を廃止（総務課、土木課）、一表支所を部相当から課相当に変更 一表支所の土木業務を本庁関係各課に統合、建設・土木業務に係る連絡・取次等を担当する土木担当を設置 建設部に維持課を設置、一表支所管内を含め、道路・河川維持管理業務を全市一元化
H17.1	豊野・戸隠・鬼無里・大岡支所を設置（市町村合併）
H19.4	豊野・戸隠・鬼無里・大岡支所の総務担当を廃止（市民担当に統合） 芹田・古牧・三輪・吉田連絡所を支所に変更（旧二表支所相当）… 戸籍・住民異動、国民健康保険等受付業務を追加
H22.1	信州新町・中条支所を設置（市町村合併）

## 4 支所庁舎の利用状況

	支所名	面積(m <sup>2</sup> )	階層	職員数	合併、業務統合等により生じた余裕部分の利用状況等	未利用面積(m <sup>2</sup> )
合併支所	豊野支所	4,700.46	地上3F	18人	八十二銀行豊野支店、北部包括支援センター、中間教室	792.27
	戸隠支所	4,239.22	地上3F/地下1F	23人	戸隠診療所、公文書館書庫	387.03
	鬼無里支所	3,396.29	地上2F/地下1F	18人	ながの農協鬼無里支店、おやこひろば、地区社協事務室	213.75
	大岡支所	1,749.62	地上3F/地下1F	15人	大岡中牧財産区	124.37
	信州新町支所	4,080.15	地上3F/地下1F	32人	信州新町公民館	0.00
	中条支所	1,362.43	地上3F	20人	(S47建築)	0.00
その他支所	篠ノ井支所	829.10	地上3F	15人	(S44建築) 南部包括支援センター	0.00
	松代支所	1,330.16	地上2F	13人		0.00
	若穂支所	1,366.31	地上2F	10人		0.00
	川中島支所	1,085.82	地上2F	11人		0.00
	更北支所	619.03	地上2F	13人	(S52建築)	0.00
	七二会支所	405.39	地上2F	6人	(S45建築) ながの農協西部支所合築)	0.00
	信更支所	871.06	地上2F	6人		0.00

※ 篠ノ井・更北・七二会支所は公民館・農協部分を除いた面積である。

※ 合併支所は、一部を公民館・診療所等に転用する前の、合併時の役場事務所面積である。

※ 旧二表支所、旧連絡所の延べ床面積は、最大が459.00m<sup>2</sup>(浅川支所)、最小が72.70m<sup>2</sup>(芋井支所)である。

### 支所の機能

① 窓口サービス

市民の利便性確保

② 地区まちづくり

住民自治活動の  
支援・協働

③ 危機管理防災

地域住民の安全・安心

④ 現地業務

業務を行うための拠点

### ① 窓口サービスの課題

- 本市では、建設や衛生関係など事業者を対象とした許認可申請などを除き、市民が日常生活に必要な証明書発行や各種申請手続きのほとんどを、支所共通の業務として取り扱っている。
- 支所が取り扱う手続きについて、制度改革等で新たな手続きが生じた場合は、その都度、市民の利便性向上の観点から検討のうえ追加しており、現状では市民から証明書発行等の窓口サービスの追加について、具体的な要望は寄せられていない。
- 地区人口の差、交通事情、利用しやすさの違いなどから支所の利用実績には大きな差がある。
- 支所の市民担当職員数が、業務量を踏まえた適正な職員配置となっていない。

(「① 窓口サービスの課題」続き)

- 情報ネットワークの整備によって、市の窓口を直接訪れず、インターネットを利用して手続きができるなど、窓口サービスの提供方法も多様化している。
- 市民に最も身近な市の行政窓口として、地区住民からの要望や相談への対応、本庁各課との連絡調整などの機能を十分発揮できるよう、職員の人材育成などによる支所体制の充実が必要である。

### ② 地区まちづくりの課題

- 都市内分権推進の中で、地区まちづくり活動の中核に地区住民自治協議会を位置付け、各地区の組織の立ち上げや活動内容の整理等に取り組んできた。
- すでに市内各地区で住民自治協議会が設立され、本格的な活動が開始されており、市の取り組みも制度導入の段階から、活動開始に伴い発生した課題への対応や、協議会独自の新たな取り組みへの支援などに役割が変化しており、支所での支援体制を見直すべき時期を迎えている。
- 支所の住民自治協議会に関する事務の支援体制は、地区・支所ごとに差がある。
- 支所の職員体制や旧町村時代の地区との関わり方の違い等が影響している。

### ③ 危機管理防災の課題

- 近年、降雨の範囲が局所的、降雨時間が短い、時間降雨量が多いといった特徴のゲリラ豪雨と言われる集中豪雨が全国各地で増加しており、本市でも、平成22年の信更地区での集中豪雨災害をはじめとして局所的な災害が発生し、住宅や道路などに甚大な被害を受けている。
- 本市は、広い中山間地域を抱え、かつ急峻な地形が多いため、降雨による地すべり等の災害発生危険箇所も多い。
- 支所に勤務している職員は管轄地区以外に居住している場合が多く、支所職員が不在となる夜間や閉庁日での災害発生への対応が課題であり、支所災害対応支援職員制度によって、災害発生時に地区内に居住する職員が支所業務を支援することとしている。
- 災害時の初動対応では支所が大きな役割を担っているが、職員数が少ない地区などでは、支所災害対応支援職員の確保が困難な状況が生じている。
- 現在の職員初動配備基準による自動発令では、震災の場合は震度(震度4を観測)、風水害の場合は大雨・洪水警報発表時となっているが、近年は大雨・洪水警報が地区の気象状況と一致しない場合が多く、支所長の登庁要否の判断が難しい。

### ④ 現地業務の課題

- 土木専門職員を旧一表支所に1名ずつ分散して配置しているため、
  - ① 設計など専門知識を活かした業務が行えず、職員同士が切磋琢磨して能力を高めることが難しい。
  - ② 局所的な集中豪雨災害が増えている中、災害発生時に現地確認等が必要な場合、機動的な対応ができない。
- 県レベルでは、土砂災害な水害などに対応するため、砂防事務所などの専門組織を現地に設置しており、災害発生の危険箇所を数多く抱える本市でも、同様の検討が必要である。
- 観光振興は、地区住民を中心としたまちづくり活動との結びつきも強いため、住民自治協議会活動への支援と一体的な観点からの検討や、市の観光施策全体の中での位置付けについて検討が必要である。
- 合併地区においては、産業振興関係、特に観光振興への市(本庁・支所)の関わり方をどのようにしていくかが大きな課題である。

## 支 所

### ① 窓口サービス

- 申請受付業務(国保・介護保険、福祉関係等)
- 証明書発行業務(住民票、戸籍、印鑑登録証明書等)
- 納付業務(市税、国民健康保険料等)
- 住民相談、苦情対応等

### ② 地区まちづくり

- 住民自治協議会活動の支援
- 地域からの情報収集、地域への情報発信

### ③ 危機管理防災

- 災害情報の収集・伝達、被害状況の調査・報告
- 災害応急対策、災害相談窓口等

### ④ 現地業務

- 地理的条件や業務効率性等から、現地に近い場所での対応が必要な業務(建設・土木、産業振興)  
(地区の状況等に応じ必要性を判断)

## 本 庁

### ① 全市的な中枢管理・総括

- 市の将来構想等の企画・計画策定
- 財政・人事などの組織経営の中枢管理業務
- 全市統一的な基準の決定
- 実施する事務事業の全体総括

### ② 広域的・全市的な課題への対応

- 都市基盤整備、交通政策
- 広域観光、地球温暖化対策

### ③ 集約・集中化が必要な業務の実施

- 専門職員が必要となる業務分野など、本庁等に集約しなければ対応できない業務
- 利用頻度や業務量、全市的な業務の統一性確保などの点から、本庁等に集約し、統一的に処理する必要がある業務
- 情報システム管理や課税計算など窓口サービスには直接関わらない内部的な業務など、本庁で集中処理したほうが効率性の高い業務

### ① 一部の部局を移転

#### ▶ 市民の混乱、市民サービス・業務効率の低下

- ✓ 利用したい部局がどこにあるか分かりにくくなり、市民の混乱、市民サービスの低下を招く。
- ✓ スペースに余裕のある支所が少なく、若干の空きスペースがある支所は、本庁から距離の遠い支所に限られる。
- ✓ 部局間、部局内での連絡調整・連携が図りにくく、業務効率が低下する。
- ✓ 職員通勤費の増加など、財政負担も増加する。

### ② 業務全般を分散

#### ▶ 大幅な職員数の増加、財政負担の増加

- ✓ 世帯数ごとに職員配置基準が定められている業務への対応や、支所内の組織拡大に伴う管理職員の配置等によって、職員数が大幅に増加する。
- ✓ 本庁・支所で重複する業務が発生し、職員配置や事務処理が非効率になる。
- ✓ 支所職員や業務の増加に伴い、庁用車、各種備品などの追加配備が必要になる。
- ✓ 多くの支所で新たに執務スペースを確保するため、施設増改築が必要になる。

市民サービス低下や財政負担の増加など、デメリットが大きい

1. 市民の混乱、市民サービスの低下、大幅な職員数の増加、施設整備などによる財政負担増加等の理由から、支所への機能移転・業務分散は行わない。
2. 支所を住民自治協議会の活動拠点と位置付けているため、現在の27支所体制を維持する。  
(第一地区から第五地区の支所設置は、今回の見直しの方向性検討に含めていない。)
3. 地理的条件、業務効率性等を踏まえ、建設・土木、産業振興等の業務拠点設置について検討を進める。
4. 27支所体制の維持、業務拠点設置に伴い、都市内分権推進計画での地域総合事務所構想は凍結する。

### 第一庁舎建替 えへの影響

- 本庁から支所への機能移転や業務分散は行わないため、本庁職員数は大幅に減少しない。
- 支所業務見直しによる職員数増減も少ないと見込まれるため、庁舎規模の決定に影響しない。

## 9 今後の取組み、想定されるスケジュール

今後の取組み 担当部局を中心として、見直しの方向性に沿って具体的な検討を進める。

区 分	検討内容等	想定されるスケジュール	
地区まちづくり	住民自治協議会 独自事務の移行	23～25年度	住民自治協議会独自事務を順次移行
	支所による支援 の見直し	23年度～	支所による支援の見直し検討 住民自治協議会等との協議
危機管理防災	支所災害対応支 援職員の見直し	23～24年度	配置基準等の見直し内容の検討 (見直し内容が決定次第、実施)
現地業務	業務拠点の設置 (建設・土木)	23～24年度 25年度 26年度以降	設置場所、担当エリア、権限等の検討 関係地区住民等への説明 業務拠点の設置
	業務拠点の設置 (産業振興)	23年度～	合併支所・本庁の役割分担の整理、見直し